

はじめに

昨年6月に新学習指導要領の移行措置が発表されました。来年度より教員免許更新制も始まります。また本県では、「理想の学校教育具現化委員会」で今後の学校教育について議論がなされ、提言が示されました。学校教育は社会の変化とともに大きく変わろうとしています。

多様な教育課題が山積している中で、学校教育において子どもの「こころざし」をはぐくむためには、直接の担い手である教職員の力に負うところが益々大きくなっています。このため教職員には高い資質能力が求められています。

こうした中、当センター長期研修員は、教員としての資質の向上と見識の涵養に努め、併せて学校及び地域の教育を推進する実践力を養うことを目的に、1年間研修を積んでまいりました。

所属校が抱える課題や教育活動実践上の課題を基に、長期研修員自身が設定した研究テーマについてまとめたこの研究報告書から、長期研修員の教育改革への意気込みと学校及び地域の教育を推進するための実践力の向上を読み取っていただけるものと思います。また、本書を読み進める中でのキーワードとなっている「自己肯定感」、「保護者との良好な関係」、「実態分析を生かした学級づくり」、「学校組織活性化」、「他者とのかかわり」、「特別支援教育の視点からの授業開発」、「わかりやすく伝える力」、「カウンセリングの技法を生かした言葉かけ」、「外部人材の活用」等は、これからの教育を進める上でも大切な視点となると思います。

これらの研究を学校教育現場における諸課題の解決や教育実践の参考として御活用いただけたら幸いです。また、内容について率直な御意見を頂きたいと存じます。

最後になりましたが、長期研修員の研修に際して、御支援・御協力を頂きました学校及び関係教育機関の方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

平成21年3月

静岡県総合教育センター
副所長 杉原啓子